

今、何の病気が流行しているか！

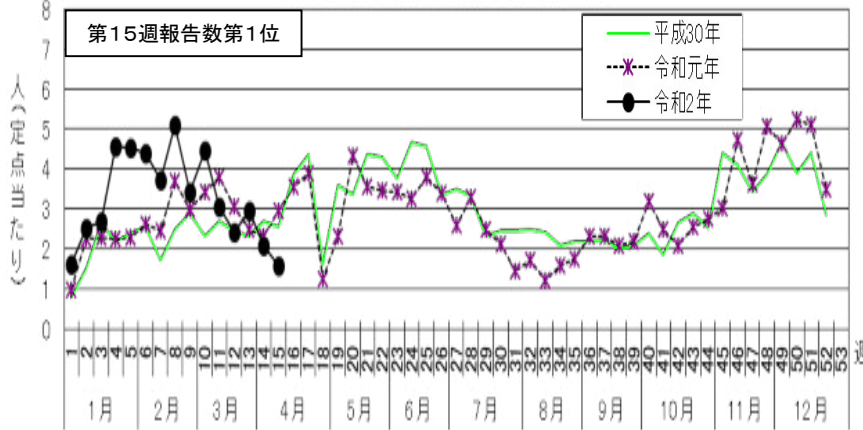
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年4月6日（月）～令和2年4月12日（日）〔令和2年第15週〕の感染症発生状況

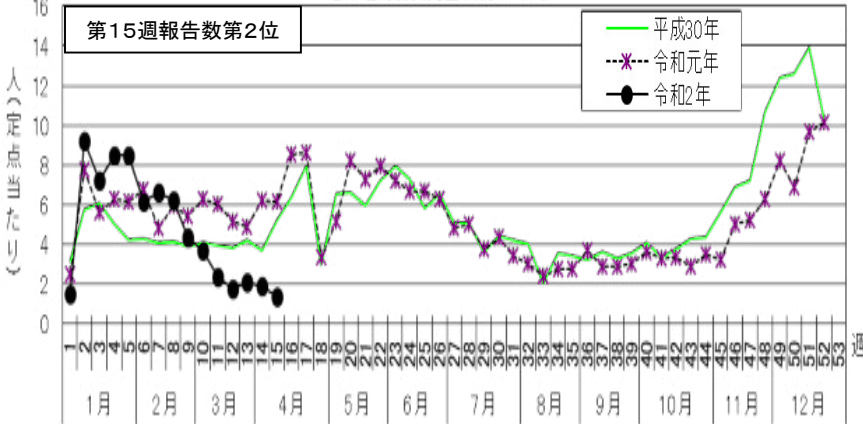
第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発しんでした。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.59人と前週（2.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.38人と前週（1.92人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

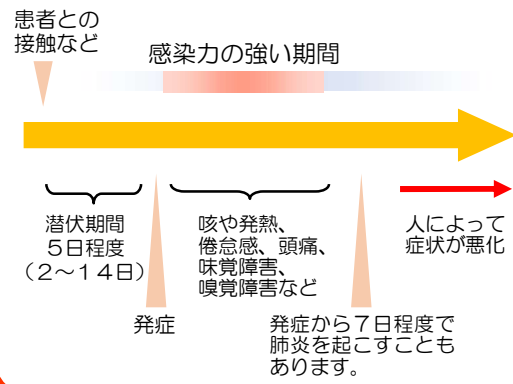


新型コロナウイルス感染症の現状～一般的な症状と経過～

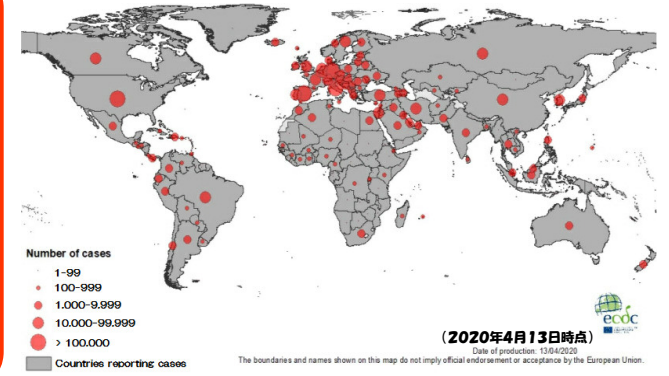
新型コロナウイルス感染症は、全世界で184万人を超える症例及び11万人を超える死亡例が報告されています（令和2年4月14日時点）。国内でも都心部を中心に徐々に報告数が増加しています。

潜伏期間は概ね5日程度で、発熱や咳、倦怠感、頭痛などで発症することが多く、特徴的な症状はありません。ただし、他のウイルス性疾患と同様に、味覚障害や嗅覚障害がみられる（発症者の約3分の1）という報告もあります。発症後は5日～7日程度で徐々に症状が悪化し、肺炎などを併発する方もいます。基礎疾患をお持ちの方や高齢者の方は特に注意が必要です。

典型的な新型コロナウイルス感染症の経過



世界における新型コロナウイルス感染症の感染者数



欧州疾病予防管理センター（ECDC）ホームページから引用